

就業構造基本調査調査票

◎15歳以上の各人について記入してください

この調査票は、統計以外の目的には使用しませんから、ありのままを記入してください。

○記入には必ず黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。
○答えを記入する欄が○の場合は、当てはまる○を●のようにぬりつぶしてください。
○文字で回答する場合は、点線の枠内に記入してください。

〈数字の記入例〉



1 氏名・男女の別及び配偶者(妻又は夫)の有無 ・配偶者の有無は届出の有無に関係なく記入してください	氏名 男 女 配偶者あり 配偶者なし	5 現在の場所に住み始めたのはいつですか ・月については平成9年以後の人のみ書いてください	出生時から 明治 大正 昭和 平成 西暦 (8へ) 年 月 日
2 世帯主との続き柄 ・世帯主の配偶者の祖父・兄弟姉妹はそれぞれ「祖父母」「兄弟姉妹」に含めます	世帯主 世帯主の配偶者 子 子の配偶者 孫 世帯主の父母 配偶者の父母 祖父母 兄弟姉妹 他の親族 その他	6 あなたはなぜ現在の場所に住むことにしたのですか ・あなたから見た理由を記入してください (おもなもの一つにマーク)	あなたの仕事の都合 家族の仕事の都合 通学のため 結婚のため 子供の教育のため 介護・看護のため その他
3 出生の年月 ・該当する元号又は西暦について記入した上で年及び月を書いてください	明治 大正 昭和 西暦 年 月	7 現在の場所に住む前はどこに住んでいましたか ・東京都区部及び政令指定都市の区の間で移動した場合は「同じ都道府県内の別の市区町村」とします ・「他の都道府県」の場合は 都道府県名も書いてください	同じ市区町村内の別のところ 同じ都道府県内の別の市区町村 他の都道府県 外国
4 教育 ・現在 学校に在学しているかどうかについて記入した上で 矢印に従って記入してください ・「卒業」の人は最終卒業学校(中途退学した人はその前の学校)について記入してください ・予備校などは ここでいう学校には含めません	在学中 卒業 在学したことがない 小学 高校 短大 大学 中学 旧制中 高専 大学院		

8 あなたはふだん何か収入になる仕事をしてしていますか

ここで「仕事をしている」とはふだん仕事をしており 今後もしていくことになっている場合をいいます
収入になる仕事には 家業(農業を含む)の手伝いや内職も含まれます

仕事をしている人
仕事をあもめている 家事があもめている 通学があもめている 家事・通学以外のことがあもめている

仕事をしていない人
家事をしている 通学している その他

・10月1日あるいはその前 数日間たまたま仕事をして「仕事をしていない」としますが 季節的な仕事や病欠などでたまたま仕事を休んでいる場合は「仕事をしている」とします
・育児休業や介護休業などのため仕事を一時的に休んでいる場合は「仕事をしている」とします

この調査票は機械にかかけますので汚さないでください	A ふだん仕事をしている人		B ふだん仕事をしていない人	
	A1 勤めか自営かの別等 ・「臨時雇」とは 雇用契約期間が1か月以上1年以内の人「日雇」とは1か月未満の人をいいます	雇われている人のうち 常時雇 臨時雇 日雇 会社などの役員 自営業主 雇人あり 自営業主 雇人なし 内職 手伝い 職	B1 あなたは何か収入になる仕事をしたいと思っていますか ・来春 学校卒業後でなければ仕事につかないという人は「思っていない」とします	思っている 思っていない
	A1.2 勤め先における呼称 ・「労働者派遣事業所の派遣社員」とは労働者派遣法に基づく人をいいます ・パートの派遣店員 派遣警備員などは派遣元の事業所における呼称について記入してください	正規の職員・従業員 パート アルバイト 労働者派遣所の派遣社員 契約社員・嘱託 その他	B2 どうして仕事をしたいのですか (おもなもの一つにマーク)	失業している 学校を卒業した収入を得る 必要が生じた 生かしたい 社会に出たい 時に余裕ができた 健康を維持したい その他
	A2 勤め先・業主などの経営組織・名称及び事業の内容 ・「官公庁」の場合は部課名まで書いてください ・「調査票の記入のしかた」を参考にして詳しく書いてください	(1) 経営組織 個人 合資会社 有限会社 株式会社 相互会社 官公庁 法人・団体 (2) 名称 (3) 事業の内容	B3 どのような種類の仕事につきたいのですか (おもなもの一つにマーク) ・回答肢については「調査票の記入のしかた」を参考にしてください	製造・生産工程 建設・労務 運輸・通信職 営業・販売職 サービス職業 専門的・技術的職業 管理的職業 事務職 その他(保安職など)
	A3 本人の仕事の内容 ・「調査票の記入のしかた」を参考にして詳しく書いてください		B4 どのようなかたちで仕事をしたいのですか (おもなもの一つにマーク)	正規の職員・従業員 パート・アルバイト 労働者派遣 派遣社員 自営業 内職 その他
	A4 勤め先・業主などの企業全体の従業者数 ・本社・支店・工場なども含めた従業者総数(パートなども含む)について記入してください	1人 5人 10人 20人 30人 50人 100人 300人 500人 1000人以上 官公庁	B5 その仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか ・以前に探していて その結果を待っている場合も「探している」とします	探している 開業の準備をしている 何もしてない
	A5 この仕事の1年間の就業日数及び1週間の就業時間 ・この仕事について1年未満の人は 最近の状態をもとにして1年間の見込日数について記入してください ・ふだん残業している場合はそれも含めて記入してください	(1) 1年間の就業日数 50日未満 50~99日 100~149日 150~199日 200~249日 250日以上 (2) 規則的か否か 不規則 ある季節だけ だいたい規則的 (3) 1週間の就業時間 15時間未満 15~19時間 20~21時間 22~29時間 30~34時間 35~42時間 43~45時間 46~48時間 49~59時間 60時間以上	B6 仕事を探したり開業の準備をしていないのはどうしてですか (おもなもの一つにマーク)	探したが見つからなかった 希望する仕事がない 知識・能力に自信がない 病気がけがのため 高齢のため 家事・育児や通学などのため 家族の介護・看取りのため 急いで仕事につく必要がある その他
			B7 その仕事を探したり開業の準備をしている期間はどれくらいになりますか	1か月未満 1か月以上 年 月
		B8 仕事があればすぐつくつもりですか	すぐつく すぐではないが つくつもり つかない	

調査区符号	世帯番号	世帯員番号	世帯人員 (世帯主の調査票のみ記入)	7欄の都道府県番号
●●●●●	●●●●●	●●●●●	15歳以上の合計 ●●●●●人	●●●●●

封 郵

A くだん仕事をしている人 (第1面から続いて記入)

A6 この仕事からの1年間の収入又は収益(税込み)

・この仕事について1年未満の人は1年間の見積額について記入してください

・自営業の場合は売上高から必要経費を差し引いた営業利益について記入してください

収入欄(万円未満) 5000万円未満 50万円未満 100万円 150万円 200万円 250万円 300万円 400万円

収入欄(万円) 500万円 600万円 700万円 800万円 900万円 1000万円 1500万円以上

A7 あなたはこの仕事を今後も続けますか

・同じ会社で配置や勤務地を変えたい場合は「この仕事を続けたい」とします

この仕事を続けたい (A7の4へ) 別の仕事もしたい (A8へ) ほかの仕事に変わりたい 仕事をすつかり やめてしまいたい

A7の2 この仕事で就業時間を増やしたいと思いませんか

(A8へ) 減らしたい 増やしたい

A7の3 どうしてほかの仕事に変わりたいのですか (おもなもの一つにマーク)

収入が少ない 労働時間が増える 知識や技能を生かしたい 余暇を増やしたい 家事の都合 ほか

A7の4 どのようなかたちで仕事をしたいのですか (おもなもの一つにマーク)

正規の職員・従業員 パート・アルバイト社員 労働者派遣 派遣社員 自営業 内職 その他

A7の5 仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか

探している 開業の準備をしている 何もしていない

A8 この仕事にはいつついたのですか

大正 昭和 平成 西暦

・該当する元号又は西暦について記入した上で年及び月を書いてください

月については平成9年以後の人のみ書いてください

A9 どうしてこの仕事に ついたのですか (おもなもの一つにマーク)

失業していた 学校を卒業した 収入を得る必要が生じた 知識や技能を生かしたかった 社会に出たかった 時間に余裕ができた 健康を維持したい よりよい条件が見つかった 仕事が見つかった その他

A10 あなたはおもな仕事のほかにも別の仕事もしていますか

(A12へ) していない 会社などの役員 雇われている人 自営業主 自家営業の手伝い 内職

A11 勤め先・業主などの事業の内容

・「調査票の記入のしかた」を参考にして詳しく書いてください

A12 1年前は何をしていたのですか

仕事をしていた (家事・通学などのほかに) 仕事をしていた (家事・通学などのほかに) 仕事をしていた (家事・通学などのほかに) 仕事をしていた (家事・通学などのほかに)

A13 現在のおもな仕事につく前に何か別の仕事をしていましたか

ある (C欄へ) ない (D欄へ)

おもな仕事について (続き)

おもな仕事以外の仕事について

B くだん仕事をしていない人 (第1面から続いて記入)

B9 1年前は何をしていましたか

仕事をしていた (家事・通学などのほかに) 仕事をしていた (家事・通学などのほかに) 仕事をしていた (家事・通学などのほかに) 仕事をしていた (家事・通学などのほかに)

B10 今までに何か仕事をしていましたか

あり (C欄へ) ない (D欄へ)

3

C 前の仕事について

C1 前の仕事をいつやめたのですか

昭和47年(1972年)以前 昭和48年(1973年)以後

・該当する元号又は西暦について記入した上で年及び月を書いてください

・月については平成9年以後に前の仕事をやめた人のみ書いてください

C2 どうして前の仕事をやめたのですか (おもなもの一つにマーク)

収入が少なかった 労働条件が悪かった 労働時間が増えた 一時的に休んだ 事業不振や先行き不安 会社倒産・事業所閉鎖のため 人員整理・勤労退職のため 家族の介護・看護のため 育児のため 結婚のため 病気・高齢のため 定年又は雇用契約の満了のため 又は事業所の移転のため 家族の転職・転勤 自分に向かない仕事だった

C3 前の仕事の勤めか自営かの別

「臨時雇」とは雇用契約期間が1か月以上1年以内の人 「日雇」とは1か月未満の人をいいます

雇われていた人のうち 常雇 臨時雇 日雇 会社などの役員 自営業主・雇人あり 雇人なし 自家営業の手伝い 内職

C3の2 勤め先における呼称

「労働者派遣事業所の派遣社員」とは労働者派遣法に基づく人をいいます

「パート」の派遣社員 派遣社員 労働者派遣 派遣社員 契約社員・嘱託 正規の職員・従業員 パート

C4 勤め先・業主などの事業の内容

・「調査票の記入のしかた」を参考にして詳しく書いてください

C5 本人の仕事の内容

・「調査票の記入のしかた」を参考にして詳しく書いてください

C6 勤め先・業主などの企業全体の従業者数

本社・支店・工場なども含めた従業者総数 (パートなども含む) について記入してください

1~4人 5~9人 10~19人 20~29人 30~49人 50~99人 100~299人 300~499人 500~999人 1000人以上 官公庁

C7 前の仕事はどれくらい続けていたのですか

1か月未満 1か月以上

月については平成9年以後に前の仕事についての人のみ書いてください

D 9月末1週間(9月24日~30日)に仕事をしたかどうかの別

・9月末1週間(9月24日~30日)に少しでも仕事をしたかどうかについて記入してください

おもに仕事 通学かたわらに仕事 家事などの仕事 仕事を少しもしなかった人のうち (高年齢者など)

仕事をした (家事・通学などのほかに) 仕事を休んでいた (家事・通学などのほかに) 仕事を探していた (家事・通学などのほかに) 通学 家事 仕事 仕事

・仕事とは収入をとまなう仕事をいい自家営業(個人経営の商店や農家など)の手伝いや内職も含まれます(「調査票の記入のしかた」参照)

E 世帯について (世帯主の調査票のみ記入してください)

E1 世帯の収入の種類

・世帯全体の収入について記入してください

(おもなもの一つ) (その他該当するものすべて)

賃金・給料 事業収入 農業収入 内職収入 家賃・地代 利子・配当 年金・恩給 雇用保険 送り金 ほか

E2 世帯全体の年間収入(税込み)

100万円未満 100万円 200万円 300万円 400万円 500万円 600万円 700万円 800万円 900万円 1000万円 1250万円 1500万円以上

E3 15歳未満の世帯人員

0歳 1歳 2歳 3歳 4歳 5歳 6歳 7歳

15歳未満の合計

この調査票は機械にかかけますので汚さないでください

ご協力ありがとうございます